

大田区の保育園で働く 看護師について

看護師の知識とスキルを保育園のこどもたちのために生かしてみませんか。こどもと家庭に最も近い看護師としてこどもの健やかな成長・発達に関わることができ、成果が実感できるやりがいのある仕事です。

保育園での仕事内容



©大田区

毎日の仕事

- けがや体調不良児の対応
- 保育補助
- 保育園の保健衛生管理
- 子育て相談・健康相談
- 園児・職員の健康管理

月の仕事

- 安全教育・健康教育
- 身体計測(毎月)
- 0歳児健康診査(月1回以上)

年の仕事

- 定期健康診断(年2回)
- 定期歯科健康診査(年2回)
- 新入園児健康診断
- 職員への保健衛生指導

大田区で 受け入れている 医療的ケアの内容

- 痰吸引
- 経過栄養
- 酸素管理
- 導尿
- 血糖値測定及び薬剤投与
- その他区長が実施を認めたケア

医療的ケア実施園では、医療的ケア担当看護師と園全体を担当している看護師の2名体制をとっています。医療的ケア児のケアや保健業務を行うなど相互に協力しています。

また、ほかの保育園からの支援体制も整っており、複数の看護師でケア児を支援しています。



医療的ケア

フォロー体制の充実

医療的ケア研修の実施

臨床からのブランクや小児の経験がなくても自信をもって臨めるよう、研修や演習を計画的に実施しています。



看護師会の実施

保育園の看護師で構成する看護師会を毎月開催し、勉強会や演習、情報共有を行い、知識の向上とスキルアップを図っています。保育園保健業務は多岐にわたることから、先輩看護師が丁寧に指導し、困ったときには相談にのっています。

育成ディスカッション

経験年数ごとにディスカッションを行い、看護師同士のコミュニケーションを深め、課題の検討や情報交換をしています。



保育園看護師の1日のスケジュール

- 08:30 ● **出勤**
環境整備・衛生環境を整える
- 09:00 ● **健康観察**
各クラスを回り、こどもたちの体調把握をする
- 10:00 ● **0歳児クラス保育補助**
離乳食介助、おむつ交換
- **健康教育(※)**
- 10:30 ● **クラスごとに身体測定**
保育室で身長・体重を計測
結果を記録用紙に記載
- 11:00 ● **食事状況の観察**
- 12:15 ● **昼休み**



- 13:15 ● **お昼寝中の健康観察**
各クラスを回り、こどもたちの体調把握をする
- 14:00 ● **ミーティング**
保育士や栄養士などと、園児の対応について話し合う
- **保健指導(※)**
- 15:00 ● **お昼寝後の健康観察**
- 16:00 ● **0歳児クラス保育補助**
● **子育て相談・健康相談**
職員、保護者の相談を受ける
- 17:15 ● **退勤**

(※)健康教育、保健指導は年間計画に従い実施します



活躍する看護師ヘインタビュー

職場の雰囲気

保育園はお子さんを預かる場所ということもあり、雰囲気も明るくて、風通しのいい職場です。看護師は各園1~2名の配属ですが、困ったときは園長先生や看護師の先輩方がすぐ相談のつてくださり、とても心強いです。何よりこどもたちのかわいい姿や歌声に癒されます。

保育園に従事する職員に救急蘇生法を教えて安全を確保したり、園児に手洗いの仕方や体の仕組みなどを伝える健康教育を行ったりするなど、健康への意識を高めるのも大事な業務の一つです。



これまでの経験を生かして

以前は病棟勤務の看護師として働いていました。保育園では医療的ケア児のケアだけでなく、元気なお子さんの急な体調不良にも焦らず対応でき、これまでの経験が生きていると感じます。



区の看護師になってよかったこと

病棟勤務と違って夜勤がないので、体調を崩さなくなりました。以前は仕事以外のことに余裕がなくストレスを感じるが多かったですが、今は気持ちや時間にも余裕ができました。



障がい者施設で働く 大田区の看護師職について



* 大田区立の障がい者施設はどんなところがあるの？

大田区には、区立直営の障がい者施設として、上池台障害者福祉会館と志茂田福祉センターの2か所あります。
両施設には、それぞれ看護師が配置されています。

今回は、上池台障害者福祉会館をご紹介します。



* 上池台障害者福祉会館ってどんなところ？

上池台障害者福祉会館は、東京都へ多機能型事業所として登録し、運営している障がい者通所施設です。

通所されている利用者は、区内在住で18歳以上の身体障害者手帳をお持ちの方や知的障害の愛の手帳をお持ちの方が対象となります。

日中活動として、作業や活動を提供し、生活の支援することが主な内容です。

運営種別としては、「就労継続支援B型」「生活介護」があり、障がいの状況により、サービスの内容が異なります。



* 障がい者施設で働く看護師ってどんなことをするの？

障がいがある方の健康管理を行います。

主な仕事内容としては、健康観察、バイタルチェック、服薬管理、嘱託医やセラピストとの予定調整業務、利用者健診関係、身体計測があります。

医療的ケアが必要な利用者への対応としては、痰吸引、胃ろう管理、経管栄養、導尿、薬液の吸入、応急的な酸素管理等があります。

安全に通所するため通所バスに看護師が添乗する場合があります。

生活を支える福祉職の専門職員と一緒に排泄介助や入浴介助、食事介助（胃ろう部からの初期食注入）をすることもあります。

* 障がい者施設での看護師職のやりがい

* 日中活動の場ですので、活動や作業場面における利用者の楽しい表情を見ることができます。

* 利用者と一緒にじっくり向き合った看護（支援）ができます。

* いろいろな行事やイベント、外出行事等、一緒に楽しむ場面もあります。

* 複数の看護師がいるので、困った時は、チームで対応することができます。

* 障がい者施設での勤務経験がなくても丁寧にご指導します。看護師としての仕事の幅が広がります。





看護師職の1日の仕事の流れ(例)

8時30分	出勤
8時35分～9時45分	利用者バス送迎添乗⇒バス到着 (1週間2日程度バス添乗)
10時00分	利用者バイタルチェック、健康観察、水分注入、PT補助、作業補助、入浴等
11時30分	昼食介助・経管栄養接続(見守り・管理)
職員休憩 (11時30分～13時30分の間に1時間休憩)	
13時40分	活動サポート
14時30分	水分注入、帰り支度準備
15時00分～16時10分	利用者バス送迎添乗
16時30分	モニタリング会議、係会議、事務等
17時15分	勤務終了



障がい者施設で勤務する看護師を紹介します(令和6年度採用)

Q なぜ大田区で看護師をしようと思ったのですか

A 結婚を機に、より豊かなワークライフバランスを実現させるため、妻の地元である大田区に引っ越しをしました。子育て中でもありますので、育児参加も視野に入れて大田区で働こうと考えました。

Q 仕事と生活の両立はどうですか。

A 勤務時間は8時30分から17時15分です。
現在4人家族で、子供が2人いますので、子供の保育園の準備や朝夕の保育園の送迎帰宅後はご飯の準備を行っています。子供が寝た後に、妻と自分の時間を過ごしています。休日は、自宅や公園で子供と遊んでいます。



Q 福祉施設での仕事内容とやりがいは何ですか

A 施設利用者の皆さん・保護者の皆さんの笑顔です。
仕事内容は主に、医療的ケアが必要な重症心身障害者の方に、胃ろう部からの注入や痰吸引等の医療行為の支援のほか、福祉職の専門職員をサポートしながら作業や活動を行っています。利用者は表情や四肢を動かしながら自分の思いを表しますが、入職当初は、利用者の反応にとっても戸惑いました。しかし、保護者や先輩職員に教えてもらいながら利用者の喜怒哀楽が徐々にわかるようになってきました。私たちの関わりで笑顔になっている利用者を見て、嬉しそうにしている保護者の姿をみるとより一層やりがいを感じます。

Q 転職して良かったことはなんですか

A 良かったことは、たくさんありますが、その中でも特に伝えたいことは、家族との時間が増えたことです。前職では夜勤があり、家族に負担をかけていましたが、現在は夜勤がなく土日休みに変わり、家族への負担を減らすことができました。職場には、子育てをしている方もおり、理解があるため急な休みも取りやすいです。

チェック!



Q 職場の雰囲気はどうですか

A 明るく、相談しやすい雰囲気があります。分からないことや、間違った事をしたときは優しくどこがいけなかったのか丁寧に指導してくれます。



Q 大田区の受験を考えている看護師さんに向けてメッセージをお願いします。

A 障がい者施設でしか得られない「やりがい」があります。自分の価値観も変わると思います。ぜひ、一緒に働いてみませんか。

